

課題

これまであなたが取り組んだ、

- A. データ分析や機械学習、数理統計などのデータサイエンス領域（分析対象は画像、動画、自然言語、購買データ、ソーシャルネットワーク、経済、心理学、アンケート、物理、生物統計など、どんなものでも構いません）における研究や開発
- B. Web / スマートフォンアプリケーション、サービス、プロトタイプ構築などの学内外におけるソフトウェアテクノロジーを用いた研究または開発、またはベンチャー企業やアクセラレータープログラムなどでの課外活動

どちらかに関するプロジェクトにおいて、最も面白かった、または最も大変だった事柄について、次の2つのファイルを提出してください。

提出ファイル

① 概要ファイル

あなたの取り組みについて、下記「必ず書いてほしいこと」に記載する5つの観点を網羅した、概要をPDF1枚にまとめたもの
※概要ファイルの記入例をご確認ください。

② 追加ファイル

追加資料として、それらのプロジェクト内容について詳細に記述した、作成済みの資料

追加資料は学内外問わず、授業や研究、アルバイト等で普段取り組まれているもの

（授業で提出したレポートや学会での投稿論文や発表資料）をそのまま流用いただいて結構です。

文書やスライド、動画像など形式は問いませんが、文書やスライドの場合、提出ファイルはPDF2ページ以内・合計2MB以内とします。本コースでは単なるリサーチやアイデアだけでなく、ご自身で実験・実装した取り組みや経験を評価します。

必ず書いてほしいこと

概要ファイルには以下の5つの観点を必ず明記してください。講師による参考例は概要ファイルの記入例をご確認ください。

Check Point ① ご自身の研究やプロジェクトの多くは難解なものが多いかと思いますが、初めて聞いた人でも理解出来るよう、極力簡潔にわかりやすく説明することを意識してみてください。

Check Point ② 漠然とプロジェクトの全体について知りたいのではなく、プロジェクトの中であなた自身が担当して実施したことを伺いたいと思っています。特に、複数名でのプロジェクトの場合は、あなた自身が行った部分や役割について教えてください。個人の研究の場合も、どこまでが既存研究の範囲でどこから先が自身の研究なのか、また、その中でもロジックの開発をしたのか実装まで行ったのか、などを明確にしてください。

Check Point ③ 実現にあたって特に創意工夫を行ったあなたならではのポイントについて、可能な限り具体的に教えてください。課題や困難を解決するにあたって活用したデータサイエンスやエンジニアリング手法があれば、併せて記載してください。

Check Point ④ 創意工夫に対しての成功・失敗は問いません。結果に対してなぜうまくいったのか、なぜうまくいかなかったのかについて、あなたがいかにきちんと向き合っているのかを教えてください。

Check Point ⑤ 生活者としてのニーズに基づいた視点、アイデアを期待しています。単に技術自体のすばらしさだけでなく、生活者視点でどのようにそれが応用される可能性があるのかについて、あなたが考えていることを聞かせてください。

将来、あなたが取り組んだプロジェクトが、何にどのように役立つか もしあなたのプロジェクトが直接生活者に貢献しにくく、記載が難しい場合は、プロジェクトを通じてあなたが身につけたスキルが将来どのように役立つかを教えて下さい（例：平安時代の貴族の分析そのものは生活者には貢献しにくいですが、定量評価が乏しい未知の問題にゼロから取り組みまとめ上げる問題構築力が得られた、など）。

注意事項

- ・ 追加資料の提出はPDF形式(2ページ以内、合計2MB以内)とします。
- ・ 締切日時直前のネット環境の接続不良等での提出遅れについても、締切以降の受付はいたしませんのでご注意ください。余裕を持ったご提出をお願いいたします。